

山の百名花

滝尾 半田 隼子

【51】ギンリョウソウ

「3 度目の正直」という言葉がありますが、白神山地の暗門の滝へは 3 回目にしてようやく行くことができました。滝までは、溪谷沿いの道を遡ります。道幅は次第に狭くなり、すれ違うのも大変です。途中、白と紅色の矢車草の花が咲いていました。稲穂のようにふさふさとした花で、人目を引きます。

一年前の 7 月初めにここを訪れた時は、梅雨明けが遅れ、二日とも雨でした。川が増水し、暗門の滝への道は通行止めになりました。仕方がないので、近くのブナ林の中を散策しました。森の中はジメジメと暗く、これといった花も咲いていませんでした。遙々東北まで来たのに、心底がっかりしました。

「せめてギンリョウソウでも咲いていないかな」と思っていたところ、ありました、ありました。雨で濡れた腐葉土の上に、ヒヨロヒヨロと無数のギンリョウソウが咲いていました。ギンリョウソウは、花という

よりはキノコのような感じですが。葉緑素が無いので、全体が真っ白で、どちらかといえば薄気味悪く、「ユウレイソウ」の別名があるくらいです。

花の形は竜の顔に似ており、それで「銀竜草」の名前がついたそうです。決して愛らしい花ではありませんが、この日は雨の中、ギンリョウソウに救われました。きっと、多くのハイカーの心を慰めてくれたことと思います。



【52】ナツトウダイ



ゴールデンウィークは箱根に出かけました。初日はお天気が悪く、予定を変更して湿生花園を散策しました。時折、小雨が降りましたが、水芭蕉もまだ少し残っており、キヌガサソウ、クマガイソウ、クリンソウ、

ヒトリシズカなども見る事ができ、大満足の一日でした。湿生花園は季節に応じて様々な花を楽しめるのでお勧めの場所です。翌日は、宿泊先の大平台温泉から浅間山を目指し、その後、湯坂道を湯本まで下りました。連休だというのに、浅間山までの九十分の道のりは、歩く人もほとんど無く、大変に静かでした。東京より若干寒いせいでしょうか、スマイレがまだ咲いていました。浅間山からの分岐を湯本方面に取り、幅の広い山道を降り始めると、道の両側にはナツトウダイが沢山咲いていました。この花を初めて見たのは、昨年のおちようど今頃のことです。熱海から湯河原まで岩戸山を経由して歩いていた時に見つけました。何の花か分からず、家に帰って図鑑で調べました。

ナツトウダイは、本当に目立たない草花で、二葉の中央に小さい赤い花を咲かせます。花の形は、地図上でよく目にする灯台の記号に似ています。ちょうどお日様のような形です。見過ごされがちですが、丈は四十センチくらいになります。皆さんも、是非、探してみてください。